

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 19

勝浦川を町の宝に

徳島県 勝浦町長

かわぐち

川口

こういち

幸一



1.はじめに

勝浦町は、徳島県の東南部に位置し、面積69.80平方キロメートル、人口約6,600人の町です。町の中央を勝浦川が東西に流れ盆地を形成しています。緑なす四方の山々は山裾のみかん園に拓かれ、平野部には田園地帯が広がり、気候温暖、人心穏和なのどかで住みよい町です。

勝浦川は剣山山系西端山地を源に、本町ほか2市1町を経て紀伊水道に流れ出る全長49.6キロメートルの県内4番目に長い2級河川です。昭和52年に上流部に多目的な正木ダムができ、洪水に悩まされてきた郷土は愁眉を開きました。また、県営灌漑排水事業により、正木ダムで取水した水を533ヘクタールのみかん園に配水し、本町の基幹産業であるみかん栽培を力強く支えています。

2. 水に関する話題

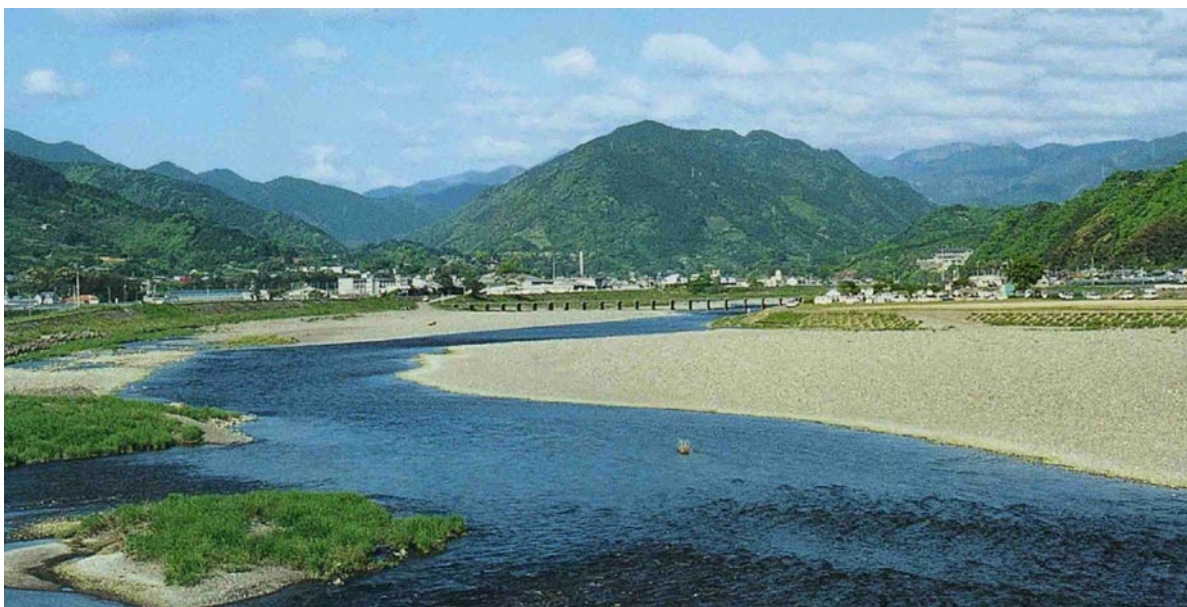
ふるさと創生事業が創設され、全国の市町村に1億円交付されることになった勝浦町では、この財源を有効に使うため町民から、提言を募り、その結果をもとに、勝浦川の水質浄化、環境美化、河川敷

の利活用を総合的に実施し、「勝浦川を町の宝に」していくことを決めました。

勝浦町の貴重な財産である勝浦川の清流を守り、町民が勝浦川に親しめる環境整備を行うものであり、町民の町づくりに対する熱意と自覚に支えられたものであったわけです。

この事業によって取り組んだのは、生活雑排水浄化対策のための合併浄化槽設置補助金、河川環境美化対策としての不法投棄のゴミ処理及び一斉清掃費、星谷総合運動公園及び前川キャンプ場整備費などです。ふるさと創生事業終了後も「勝浦川を町の宝に」は、本町の町是となっています。徳島県当局のご理解を賜り、河川敷の草刈りも続けられています。

流域住民が組織し、勝浦川の美化保全に努力されている団体、勝浦川の水をきれいにする会・勝浦川をきれいにする会及び勝浦川流域ネットワークや町民各位と協力しながら、生命の源ともいえる清らかな水の確保に向けて、なお一層の努力を傾注していきたいと思っています。



勝浦川